

米

# 米（全袋検査を含む）の検査結果の推移

検査期間	検査点数 <sup>1</sup>	基準値 超過点数	超過割合
～2011年産	26,464	592	2.2%
2012年産	約1,037万	84	0.0008%
2013年産	約1,104万	28	0.0003%
2014年産	約1,102万	2	0.00002%
∩	∩	0	0%
2023年産（1月9日時点）	約8万	0	0%

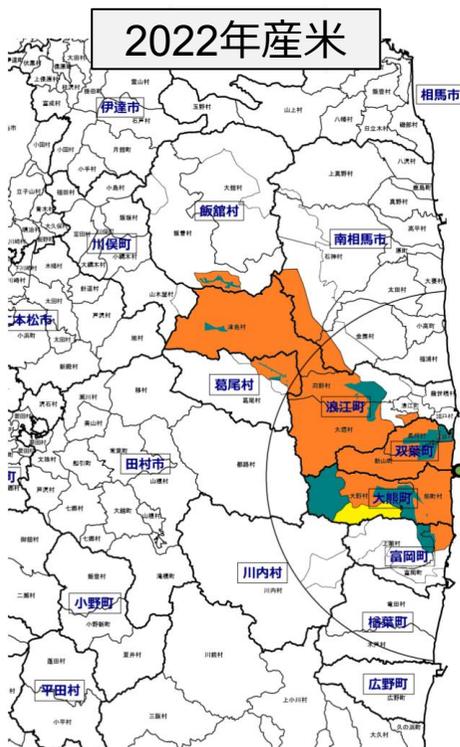
1：2020年産米から、全袋検査からモニタリング（抽出）検査に段階的に移行し、検査点数が減少

※集計対象：食品中の放射性物質に関する「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」において、  
検査対象自治体となっている17都県

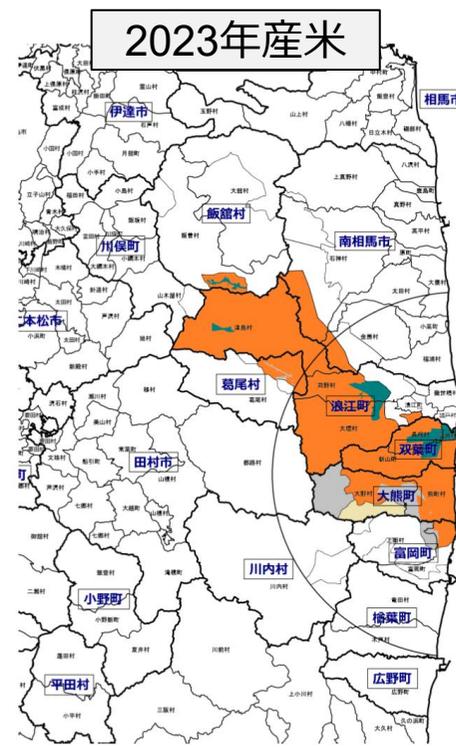
農産物に含まれる放射性セシウム濃度の検査結果（農林水産省）、ふくしまのめぐみ（福島県）より作成

米

# 2023年産米の作付制限等の対象区域



- 作付制限**  
作付・営農は不可。
- 農地保全・試験栽培**  
除染後農地の保安全管理や市町村の管理の下で試験栽培を実施。
- 作付再開準備**  
管理計画を策定し、作付再開に向けた実証栽培等を実施。
- 全量生産出荷管理**  
管理計画を策定し、全てのほ場で吸収抑制対策を実施、もれなく検査（全量管理・全袋検査）し、順次出荷。
- 全戸生産出荷管理**  
農家単位で吸収抑制対策を徹底した上で検査（全袋検査）し、順次出荷。
- 福島第一原子力発電所**



区域	2023年産米	2022年産米
作付制限	1,500ha	1,500ha
農地保全・試験栽培	550ha	850ha
作付再開準備	300ha	0ha
全量生産出荷管理	0ha	100ha
計	2,350ha	2,450ha

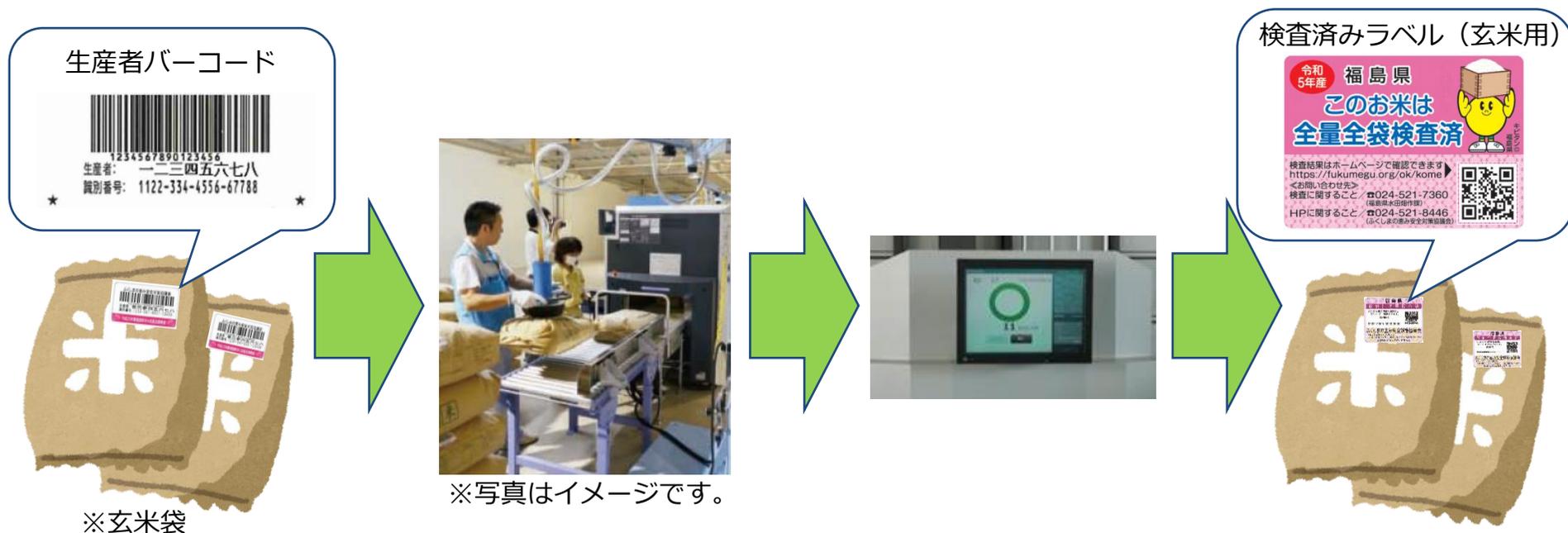
※合計値はラウンドの関係で合わない場合がある。

農林水産省「令和5年産米の作付制限等の対象地域」より作成

米

# 福島県における米の全袋検査

福島県では、検査ガイドラインに基づく検査とは別に、2012年産米から県内全域で全袋検査を実施。なお、2020年産米から、全袋検査から段階的にモニタリング（抽出）検査に移行。2023年産米からは田村市が移行。



※玄米袋

全ての米袋に  
生産者バーコードを  
貼り、検査場に  
持ち込む

※福島県のホームページ等に基づき作成。

ベルトコンベア式検査器で  
バーコードを読み取り、  
放射性物質を検査

放射性物質が基準  
値以下のみ合格

合格した玄米に検査済  
ラベルを貼る

QRコードで検査結果を確認可能  
「ふくしまの恵み安全対策協議会」  
[https://fukumegu.org/ok/contents  
V2/kome\\_summary\\_2.html](https://fukumegu.org/ok/contents/V2/kome_summary_2.html)